

- 31:23 神からのわざわいは私をおびえさせ、
その威厳のゆえに、
私は何もすることができないからだ。
- 31:24 もし、私が金をおのれの頼みとし、
黄金に向かって、私の抛り頼むもの、
と言ったことがあるなら、
- 31:25 あるいは、私の富が多いので喜び、
私の手が多くの物を得たので、
喜んだことがあるなら、
- 31:26 あるいは、輝く日の光を見、
照りながら動く月を見て、
- 31:27 私の心がひそかに惑わされ、
手をもって口づけを
投げかけたことがあるなら、
- 31:28 これもまた裁判にかけて
罰せられる罪だ。
私が上なる神を否んだためだ。
- 31:29 あるいは、私を憎む者の
衰えているのを私が見て喜び、
彼にわざわいが下ったとき、
喜び勇んだことがあろうか。
- 31:30 私は自分の口に罪を犯させなかった。
のろって彼のいのちを
求めようとしなかった。
- 31:31 いったい、私の天幕の人々で、
「だれか、彼の肉に
飽き足りなかった者はいないか。」
と言わなかったことがあろうか。
- 31:32 異国人は外で夜を過ごさず、
私は戸口を通りに向けてあけている。
- 31:33 あるいは、私がアダムのように、
自分のそむきの罪をおい隠し、
自分の咎を胸の中に

- 秘めたことがあろうか。
- 31:34 私が群衆の騒ぎにおびえ、
一族のさげすみを恐れて黙り、
門を出なかったことがあろうか。
- 31:35 だれか私に
聞いてくれる者はないものか。
見よ。私を確認してくださる方、
全能者が私に答えてくださる。
私を訴える者が書いた告訴状があれば、
- 31:36 私はそれを肩に負い、
冠のように、それをこの身に結びつけ、
- 31:37 私の歩みの数をこの方に告げ、
君主のようにして近づきたい。
- 31:38 もし、私の土地が私に向かって叫び、
そのうねが共に泣くことがあるなら、
- 31:39 あるいは、私が金を払わないで
その産物を食べ、
その持ち主のいのちを
失わせたことがあるなら、
- 31:40 小麦の代わりにいばらが生え、
大麦の代わりに雑草がはびこるように。
ヨブのことばは終わった。

ヨブが今話せることは、もう尽きてしまいました。彼が地上の誰よりも立派な人であったことがわかります。それにしても神はなぜヨブのような正しい人に、苦しみを与えられたのでしょうか。もしも罪の多い人であったなら、おそらく「因果応報」「自業自得」ということで済まされてしまっただけで、そこからは神の絶対的主権という観念が生まれてこなかったからでしょう。

ときには私たちが、「正しいから」「成長しているから」「用いられているから」こそ、試練が与えられることもあるのではないのでしょうか。更なるステップへ、高みへ、または深みへ進ませるためです。

ヨブのように正しい生き方を心がけつつ、主か

らの意味ある試練に、希望を持って向かっていきましょう。「1:12 試練に耐える人は幸いです。耐え抜いて良しと認められた人は、神を愛する者に約束された、いのちの冠を受けるからです。」とヤコブ書にあるように。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

